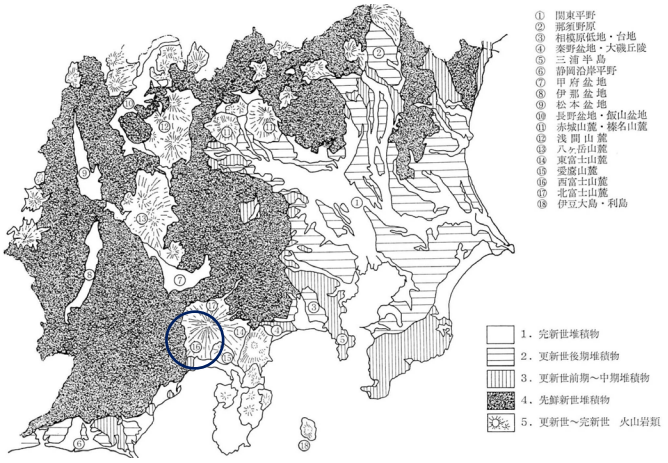
16.西富士山麓（富士西麓）



地形・地質

西富士山麓は面積約 450km^2 の地域で，美しいスロープと広大な裾野をもち，その山脚部には猪之頭・白糸の滝・淀師，富士宮湧玉および吉原浅間神社などの大湧泉が点在します。

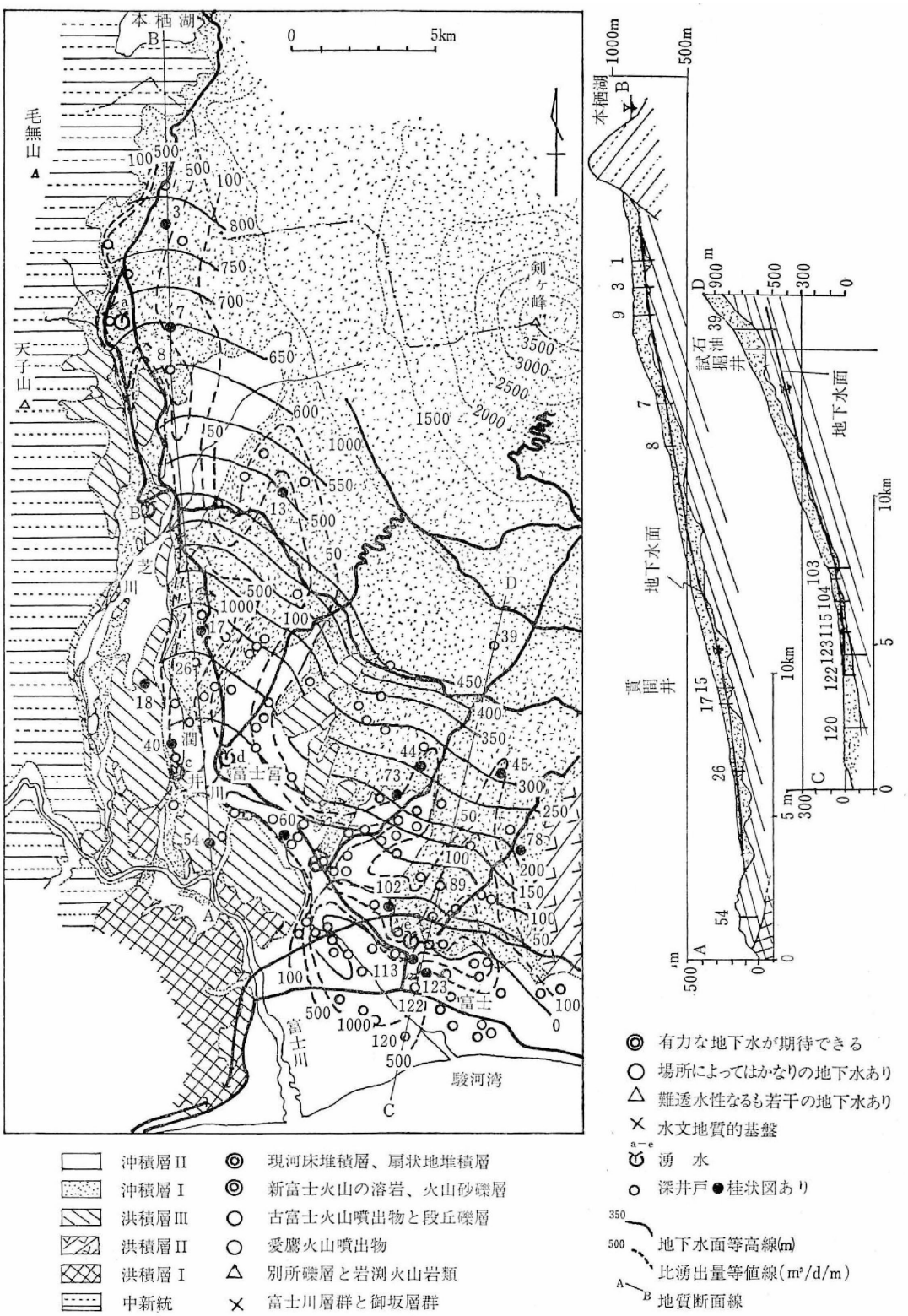
地下水

洪積層Ⅱは愛鷹火山噴出物，洪積層Ⅲは古富士火山噴出物と段丘礫層が帯水層となっていて，場所によって有力な地下水が期待できます。沖積層Ⅰは新富士火山の噴出物が，沖積層Ⅱは未固結の砂礫層が有力な帯水層です。

富士火山（西富士山麓）水文地質層序表

地質時代		層序	岩相	地下水
第四紀	完新世	沖積層 Ⅱ	現河床砂礫，海浜砂礫，シルト，扇状地礫	◎
		沖積層 Ⅰ	新富士火山の溶岩，凝灰角礫岩，火山砂礫，火山砂	◎
	更新世	洪積層 Ⅲ	古富士火山の泥流，火山砂礫，段丘礫，ローム	○
		洪積層 Ⅱ	愛鷹火山の溶岩，火山砕屑岩，ローム	○
		洪積層 Ⅰ	別所礫層の砂礫，岩淵火山の集塊岩	△
第三紀	中新世	中新層（基盤）	砂岩，礫岩，泥岩，凝灰石，凝灰角礫岩	×

◎　有力な地下水が賦存する。
○　場所によってはかなりの地下水が期待できる。
△　難透水性なるも若干の地下水は期待できる。
×　不透水層（水文地質的基盤）



西富士山麓の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）